

教職員用 「心と身体のチェックリスト」の活用について

このチェックリストは、突然の災害や事故、事件に遭遇したり、何らかの強いストレスを受けたりした子どもたちのサポートのため、学校で活用していただくことを目的に作成したものです。

心の傷は見えにくいもので、表面上は元気に振る舞っていても、不安を抱えていたり、しんどい思いをしていたりする子どもがいるかもしれません。先生方の細やかな観察や温かい見守りとともに、このチェックリストを子どもたちの心身の状況を把握する一つの方法として活用していただければ幸いです。

■実施に当たって

- ・このチェックリストは、突然の災害や事故、事件を「悲しいできごと」と説明した上で実施できるように作成しています。
- ・先生が子どもたちに「できごと」について、あったことを認め、何より子どもたちの心を大切にしたいという思いを伝えてください。
- ・できごとを「悲しい」と表現するのは適さない場面もあるかと考え、あえて「できごと」についてふれていない文面（【資料1-2】【資料2-2】）も作成しています。場面に応じて活用してください。
- ・実施の時期については、できごとが起こってから1週間以内を想定していますが、必要に応じて専門家を交え、十分に検討を行ってください。
- ・チェックリストを実施することで、児童生徒が意識していなかったことを想起する可能性もあることを認識しておいてください。
- ・実施する場合は、「保護者の皆様へ【資料4】」を配布するなど、保護者に事前説明をしてください。
- ・実施の際は、児童生徒に心理検査やテストではないことを伝え、緊張せずにリラックスした状態で回答するよう説明して行ってください。
- ・小学校の低学年に実施する場合は、学級担任が目的や項目を一つずつ読み上げ、説明しながら行ってください。

■活用について

- ・結果は、個別面接、健康観察などを補完するものとして、総合的な判断に活用してください。
- ・チェックリスト中の「ある」に○を付けた項目が一つでもあれば、児童生徒に直接確認し、よく話を聴いてください。
- ・専門家の支援が必要と思われる場合は、保護者と相談の上、スクールカウンセラーにつなげたり、医療機関等の紹介や受診指導等を行ったりしてください。
- ・プライバシーの保護については、十分に配慮をしてください。